

令和5年度大船渡市防災訓練の結果について

1 日時

令和5年10月1日（日）午前7時30分から午前9時まで

2 訓練参加者

(1) 総参加者数	5,670人
・一般参加者及び自主防災組織	4,892人
・訓練参加機関	778人（37機関）

3 総括

本年度の訓練は、令和4年3月に岩手県が公表した最大クラスの津波浸水想定を反映させた津波ハザードマップを全世帯配布した後、初めての地震や津波を想定した訓練であり、昨年12月から運用が開始されている「北海道・三陸沖後発地震注意情報」を広く住民に周知するため、当該情報が発表されている想定で行った。

市災害対策本部においては、災害対策本部員会議の運営訓練を行ったほか、災害時における関係機関への支援要請等の連絡訓練、チャットツールを活用した試験的な通信訓練を行うとともに、防災行政無線や移動系無線機器の操作手順の確認や習熟のための通信訓練等を行った。

避難所となる各地区本部では、避難者の受付体制や備蓄資機材の確認、避難者に体調不良者や要配慮者がいた場合における部屋割りのシミュレーションを行うなど、災害時において円滑な地区本部及び避難所の開設・運営が図られるよう訓練を行った。

市内各自主防災組織では、津波ハザードマップを活用した避難場所や避難経路の確認のほか、地域の避難行動要支援者を確認したり、組織内の役割分担や備蓄している非常用資機材の確認や炊き出しをしたりするなど、実情に応じた独自訓練が行われた。

今回の訓練で得られた成果や課題を検証し、今後発生し得る災害に備え、住民の防災意識の高揚を図るとともに、防災関係機関や地域自主防災組織等との連携をより一層強化し、引き続き万全な防災対策が講じられるよう努めてまいります。